

## 第6回摂津市総合計画審議会（第4部会）議事録

日時：平成22年1月29日(金)14:00～16:00

場所：摂津市役所 新館3階 第1委員会室

### 1. 議事

#### 事務局

あいさつ、資料確認

出席担当課（環境対策課、健康推進課、環境業務課、環境センター、公園みどり課、下水道管理課）の紹介

#### 杉本部部长

他部会（長尾委員、宮田委員）より、意見を預かっている。該当施策の議論の際に、紹介する。

#### 事務局

第5回の審議会議事録について、修正があれば、2月5日までに事務局までご連絡いただきたい。他部会についての議論がわかるよう、他部会の議事録も用意した。各種アンケート調査に関する結果、民生児童委員の役割と活動についてまとめた資料も用意した。140人もいるので活動状況に多少の開きはあるが、無報酬で活動してくださっている。

また、奨学金の対象者についても資料を用意した。応募者数は年々増えてきている。認定者数と実質貸付数の開きについては、大阪府の育英会の受給により、辞退した人がいることなどが原因と考えられる。

### **■施策 環境を守るための調査・指導を実施します（3-5-22）**

#### 杉本部部长

いわゆる、古典的な公害が中心となっている部分である。

#### 環境対策課

訂正がある。43ページの「実現する姿を確認する指標」の、「大気汚染常時監視測定局における二酸化窒素濃度」のところ、0.52ppm となっているが、0.052ppm の誤りである。環境基準は0.06 ppm である。

#### 服部委員

「施策の基本方向」の監視体制について、現在の監視体制というのはどうなっているのか。

### 環境対策課

大阪府の常時監視場所がポリテクセンターに、1箇所ある。平成15年からは環境基準内で推移している。

### 服部委員

その体制を強化するとはどういうことか。

### 環境対策課

大阪府内で100か所の常時監視場所がある。全か所で環境基準を達成している。現状の100局はそのままの予定と聞く。環境基準は守られていて、大阪府の大気はきれいになっているということである。

### 日野委員

では何故強化する必要があるのか。

### 環境対策課

市独自に簡易測定を行っている。1k㎡あたり1か所観測の割合でフィルターバッチという簡易装置で観測している。

### 杉本部長

最近では、市民が自ら観測する動きなどがある。

### 環境対策課

取付は職員が行っている。

### 日野委員

河川の水路については、どこが対象か？

### 環境対策課

市内の河川、農業用水路の9地点で水質調査を実施している。年4回である。

### 日野委員

環境基準はどうなっているのか。

### 環境対策課

8項目ほど調査している。BODの数値が高かったところは平成20年度に1か所あった。

それで 88.9%になっている。

#### 杉本部長

そのときの状況によって変わりうるので、難しい。

#### 服部委員

見たところきれいではないところも多いが、それでも 88.9%は基準を満たしているようである。もっときれいになってほしいが。

#### 環境対策課

季節にもよる。農業用水路では難しい。

#### 杉本部長

見た目については、別の施策の対象になる。

#### 山中委員

全体的に、公共下水道が進んでいるので変わってきていると思うが、このグラフからその傾向は見られるか。平成 17 年、18 年が少し下がっている。公共下水の効果や今後の見通しはどのようなものか。

#### 下水道管理課

現在、公共下水道人口普及率は 97%、水洗化率は 95%で、年々解消に向かっていくと思われる。

#### 公園みどり課

大阪府が管理している河川については、市内の公共下水道からの生活排水が流れていないので関係がない。鳥飼地域を流れている鳥飼水路といった農業用水路などについては、生活排水がまだ切り替えられていないという現状が見受けられる。また、鳥飼以外については高槻エリアの団地の水も摂津市内を流れて下流に流れている。高槻エリアの公共下水自体も調整区域になっているので、なかなか進められないという現状もある。そういった生活排水の流入があるため、公共下水の効果が目に見えていないというのが現状。摂津市域については、切り替えを進めていく方向になるかと思う。

#### 中原委員

他の河川に比べて、農業用水路の味生水路が汚い。味生水路を重点的にしていただくなど、生活排水との切り替えをもう少し強行にやっていただけないか。

### 公園みどり課

東別府地域も、公共下水の汚水処理については、ほぼできてきたかなと思う。200 所帯分ぐらいが未整備で、生活排水が味生水路の方に流れてしまっている。そこも随時、公共下水道の整備を進めていくというように動いているのだが。

### 中原委員

市が直接管理しているランドや川はとてもきれいである。それに比べて神安土地改良区は遅れていて、市が手を出せないという感じがしている。同じ摂津市内ならもっと平等に扱ってもらえないか。

### 下水道管理課

ただ味生水路の下流域に接するところは南別府の住民の方が熱心で、「花いっぱい活動」をしてくださっている。水生植物なども植えていただいている、水の状態は比較的良好に保たれているという気もして、我々は感謝している。

### 杉本部長

形式的に「頑張ります」というのではなく、市民の方々の協力も含めた施策の展開を書かれた方が、むしろ現実を反映しているのではないかと。例えば、公共下水道への切り替えの促進とか、水質の向上のための生活面での配慮などである。廃食油の回収とかも書いてあるが、その辺も含めて強調した方がいいのではないかと。今の書き方だと事業所が悪いようなニュアンスが強いので、市民も頑張らしましょうというふうにした方がよいのではないかと。思う。

### 服部委員

施策の展開の③の、「事業所の、環境面における社会的責任」に関することであるが、市民から見たら事業所がどのような排出状況で、それをどのように指導していかれるのかということが、具体的にはわかりにくい。また「摂津市の特色や魅力ある取組」のところについて、「廃食油の回収」をしたものはどうしているのかがわからない。下水に流さないで、ということだと思いが。

### 環境対策課

廃食油については粉石けんに変えている。また、市民には廃食油と交換に粉石けんを配布している。

### 服部委員

もう少し踏み込んで、みんなで協力できるということがわかるように書いてはどうか。

#### 杉本部長

石鹼になり、有効に活用されているというところまでを書いた方がいいと思う。

#### 服部委員

事業所がどんなに摂津市の環境を悪くしているのか、また事業所がどんなことを協力できるのかというのが書かれないと、市民にはわかりにくいのではないかと思います。

#### 山中委員

廃食油の回収場所は、合計7か所である。成果は上がっているのか。

#### 環境対策課

毎月、回集用ポリ容器が満杯になる。

#### 山中委員

家庭でも処分に困る。

#### 杉本部長

あまりPRしていないようである。

#### 山中委員

粉石けんは市民にも提供している。

#### 環境対策課

あまりPRはできていないと思うが、広報やホームページではPRしている。

#### 杉本部長

もう少し実態がわかるPRをするべきということである。

#### 切東委員

騒音について、ワンポイント入れてほしい。

#### ■施策 環境意識を高めます (3-5-23)

#### 山中委員

環境の問題については、世界的に意識が向上している。市民PRはある程度進んでいると言える。しかし、ノーマイカーデーに何十年も前から取り組んでいるが、実際には、市民がそういった意識を持っているかという疑問である。渋滞はノーマイカーデーでも関

係なく起こっている。

#### **杉本部長**

取組の方では、意識を高めるというより環境活動を推進しますというほうがよいのではないか。もちろん意識も大切だが、どちらかというウエイトは意識より行動に置いてはどうかと思う。

#### **日野委員**

太陽光エネルギーなどの新エネルギー導入と書かれているが、実際、太陽光などの新エネルギーは、摂津市内では導入がされていないという認識でよいのか。

#### **環境対策課**

一般住宅には補助がないので、まだである。

#### **日野委員**

保育園によっては、10kw の発電をするなど、クリーンなエネルギーというメッセージを発信しているが、市からはメッセージが伝わってこない。公共施設に付けるなど、もう少し設置促進の取組を行った方がいいのではないだろうか。

#### **環境対策課**

担当としても、市が率先活動するのがあるべき姿だと考えている。太陽光発電については財政負担もあるが、まずは率先活動をしなければいけないと考えている。今後、CO<sub>2</sub>削減についての取組がますます必要になってくるから、市が率先して、地域計画などの中で、具体的に取り組んでいける内容をもっと考えていきたいと思う。

#### **事務局**

古い施設に付けるというところまではいっていないが、新規の施設、市営住宅には付けられないか。

#### **環境業務課**

平成 22 年度の予算で、国の補助を受けて、市のストックヤードに付けることになっている。

#### **事務局**

市営住宅も新駅のバス停の屋根にも市役所でパネルを付ける。リサイクルプラザにも付ける。学校がどうなっていくかは、予算との関係の中で進めていく。

## 服部委員

施策 3-5-23「環境意識を高めます」に関連して、「低炭素都市として脚光を浴びるまち」というのがあるというのが市民会議の提言としてあった。自転車の活用ができればよいという提案や、歩いて暮らせるまちがいいという提案が市民会議で出た。歩くとか自転車で市内を移動できるような取組ができればと思う。歩きと自転車で、ある程度、用を足せたらいいかと思う。これは道路整備の話になるかと思うが、課を超えた取組はできないか。

## 杉本部長

通勤だけではなくて、日常生活も含めてということ。

## 服部委員

海外では、パークアンドライドの取組がある。

## 環境対策課

市でもノーマイカーデーの推進をしており、CO<sub>2</sub>の削減にかなり寄与している。通勤手当なども活用しながら、職員に自転車などを利用するような見本を示すようにしていきたい。

## 服部委員

摂津市は小さい市だというのは市長も最近おっしゃっていることだが、その小さい市の良さを活かして、市民がどういう暮らし方をして活かすのか。何かアピールできる施策にならないかと思う。

## 切東委員

一方で、車があると便利だという人もいる。摂津市の良さは、インターチェンジも近いし、どこにでも行きやすい。以前、ここで話を聞いたとき、摂津市の第3次産業の従業者の約3割が運輸業に関わっている人だということだった。だとしたら、運輸関係企業へのエコ意識を確かめるという戦略が一つあってもいいのではないのか。本当はおっしゃるとおり、自転車のほうがいい。コペンハーゲンはみんな自転車で通勤しているようだが、道路整備が大掛かり。先ほどの話のように、市役所の方が率先して徒歩や自転車通勤をすれば、どこの道路が良くないなどが早く分かって、施策に結びつきやすいかもしれない。いろんな視点がある中で、摂津市の戦略を工夫することは必要かと思う。

## 杉本部長

大企業への協力の呼びかけも望ましい。

## 切東委員

インセンティブも必要である。

## 杉本部長

企業にとっては、行政と協力して環境への取組を行っていることがある意味でインセンティブにもなる。

また、本当に車が必要な人もいるので、エコカー、ソーラーカーの導入などについての取組はできないか。

## 環境対策課

環境業務課は、エコカーの導入を率先して進めている。全庁的にも、進めていけばとは思っている。

## 服部委員

施策のタイトルは、「環境意識を高めます」とか、「環境美化と衛生を進めます」とか、当然の言葉が使われている。間違いはないが、今後10年間の取組として、もっと具体的なものを書けないか。書きぶりがおもしろくない。

## 杉本部長

「市民とともに、環境活動を進めます」の方がまだいいかと思う。

## 環境対策課

市民一人ひとりの問題。市民、事業者、行政が一致団結してこそ。CO<sub>2</sub>は目に見えないものでもある。施策の「環境意識を高めます」より、もっといい文言があれば。

## 山中委員

マイカーの問題であるが、健康を意識して、車を降りるという面の方が意識的に大きいのでは。そうであれば、健康推進課などと協力するというのもひとつの方法ではないか。

## 健康推進課

健康推進課では、「健康せつつ21」という健康づくり運動計画を策定しており、その計画の8つの柱の1つには「人にやさしい安心でクリーンなまちづくり」というのがある。これに基づき、主に市内の道路や公園のバリアフリー化を進めて、気軽にウォーキングしたりする取組を進めようと、ウォーキングコースを設置した。しかし、財政的な問題や、限定された空間の中で道路を改良して歩道を広げようとする自動車が通りにくくなるなど、構造上の問題に直面して、なかなか充実が難しい。しかし、市としても、健康という切り

口から、人にやさしい、環境にもやさしいという取組の推進を図っており、必要性は認識している。

**杉本部長**

これは、次の施策とも関わってくる。

**■施策 環境美化・衛生をすすめます (3-5-24)**

**杉本部長**

これは所轄の都合かもしれないが、葬儀関係がここに入ってくるのは不思議な感じがする。ここにしか入らなかったのか。

**健康推進課**

違和感がある。構成を再検討することはできないか。

**事務局**

確かに違和感がある。どこにも入らず、この施策に入れた。

**中原委員**

この項目はわざわざ取り上げなくてもいいのではないか。

**杉本部長**

総合計画には、取り上げなくてもいいとも考えられる。

**健康推進課**

前回の計画策定時には、市内に葬儀会館がなく、多くの方が自宅や集会場で葬儀を行っていた。そういったことで、市に対して設置の要望があったので入れたのであろう。すでに役割を終えた施設整備であれば、なくてもいいのではないか。

**杉本部長**

その時はこれが入っていても違和感がなかったということ。今回は、特に支障がなければ入れないということにする。

**服部委員**

「緑豊かで美しい摂津市をつくりたい」というのと、「衛生的な摂津市をつくりたい」というのを合わせた感じになっている。

#### 切東委員

次の施策と混在している。いっそ後の施策とまとめて議論してもよいのではないか。

#### 杉本部長

合体も含めて、まず、ごみをなくして緑や水をきれいにして、ということだと思う。この内容を検討して、場合によっては後ろと統合していただくようにできないか。

#### 環境対策課

屋外広告については、違法広告が氾濫している。この撤去にかなり苦勞していた。最近では、撤去される側も学習してきたこともあり、違法広告が減ってきれいな環境が保たれてきている。

#### 山中委員

最近、不正看板は見受けられないように思う。

#### 環境対策課

開発業者はまだ貼っているところもあるが、減ってきている。市民団体による活動の効果も出てきている。自治会でも活動を進めていただいている。

#### 服部委員

自主的な美化活動に対する支援はしているか。こういった発動は、今もボランティアの方がやっというのか。

#### 環境対策課

市民団体などのボランティアが行っている。また、◎の重点的な取組のところにある、「大阪府アドプト・ロード・プログラム」については、企業が3団体と、自治会団体が1団体と、市民グループが3団体の計7団体が活動している。具体的には府道の清掃活動で、年6回程度行っている。大阪府からは、ゴミ袋、火ばさみ、軍手のレンタルなどを通じて支援している。

#### 服部委員

以前、伊丹市で、例えばこういう花壇をつくりたいなどの市民の発想に対して、行政が支援して、市民が自分たちでその花を植えるというような取組がなされていたようである。市民会議でも「市民が愛着を持てる景観が育まれるまち」というのが出ていた。行政から与えられるのではなく自分たちで意見を出して決定し、自分たちで管理をする。行政は市民の取組に対して支援をする。そうした市民の発想を支援することで、愛着を持ちつつ活

動できるような、新しい取組や支援をできないか。

#### 公園みどり課

花壇については、公園みどり課で「花いっぱい活動」と称し、市内の38団体に対し、花の提供などを行っている。また、市民による緑化推進連絡会という団体により、市民が連携し活動を進めている。今後はこうした取組みをさらに広げていきたいと考えている。

#### 杉本部長

そういったことをもっと知ってもらえるよう、PRするのがよいのではないか。また、公園や道路を花や緑でいっぱいにするプロジェクトを何かつくればよいと思う。

#### 服部委員

そういった活動を今後、広めていければと思う。

#### 公園みどり課

そうした活動に参加いただいている方は高齢者が多い。地域で高齢者に参加いただき、また、子どもにも参加してもらえるような活動を今後さらに広げていければと思う。

また、できることならば公園や河川緑地の清掃まで市民の方が主体となって取り組める活動を広げていければと考えている。

#### 切東委員

公園や河川緑地の清掃は土木下水道部でやっているのか。

#### 公園みどり課

土木下水道部公園みどり課が行っている。

#### 切東委員

縦割組織のためそのような担当になっているのかと思うが、市民には分かりにくい。

#### 服部委員

長尾委員からの意見で専門の知識を持った「グリーンアドバイザー」の意見を取り込めないかという意見があったが。

#### 公園みどり課

現在、「花いっぱい活動」と合わせて、「花とみどりの相談所」を開設しており、緑化の専門家に月・火・木・金の各曜日に常駐いただき、市民の皆様からの緑化相談を受けてい

ただいている。

#### **杉本部長**

屋外緑化は生活環境部で担当しているが、景観などは他部署で担当しているのか。

#### **事務局**

景観は基本計画（案）31 ページにあるように、都市整備部が担当している。

#### **杉本部長**

この屋外緑化に関する内容は、他の施策に盛り込めればそれが一番いいのではないか。ここで強調しておくべきことを確認したい。広告物対策はある程度進んでいるので、やはり住民の清掃・美化活動の話だと思う。ペットに関する話はここにしか盛り込めないのか。

#### **下水道管理課**

ペットの話については、ここ以外に公園、道路、歩道にも当てはまる。

#### **杉本部長**

ペットの話もできるだけ他の施策に盛り込んでいただきたい。各施策をできるだけ横一列に整えるということで処理を進めると、この施策はなくなるかもしれない。施策の統廃合という点も含めてご検討いただきたい。

#### **中原委員**

ペットの問題は重視していただきたい。犬・猫の糞公害は頭の痛い問題である。

#### **公園みどり課**

公園を管理させていただいている中で、ペットの飼い主のマナー意識が低いことを痛感する。広告などでマナー向上の啓発活動は行っているが、非常に苦慮している。

#### **杉本部長**

私も大学周辺の特徴ある景観を学生に撮影に行かせることがある。撮影から帰って見るとマナー向上を啓発する看板をたくさん撮って帰ってくる学生がいる。特徴ある景観の中に現実としてそうした一面を垣間見ることができる。

#### **健康推進課**

現在、摂津市内で 3,400 頭あまりのペットが予防注射を接種している。ペットの散歩中の糞尿放置については、健康推進課でも新たな取組として、「イエローカード作戦」を展開

している。これは賛否両論があった。職員ではなく、地域の住民に管理していただき、糞のあるところにカードを置いていくようにした。10自治会ぐらいに協力してもらっている。昨年末に行ったアンケートでは、いくつかの自治体で効果があったということである。ただし、効果がないという自治会もあった。来年度についても予防注射の際に、紙切れを渡すだけでなく、他の書類に飼い主のマナーを呼びかける文言を加えるなどの方策も検討している。

健康推進課の立場で言えば、衛生的な生活環境づくりについては、感染症対策に力点を置いている。そのため、そ族昆虫などの衛生対策という文言が施策の展開に含まれている。

#### 中原委員

意識の向上などでは改善しないのではないか。まち中に監視カメラなどで撮影し、罰金を取るなどしてはどうか。それぐらいの対応が必要だと思う。

#### 杉本部長

基本計画の中で地域の美化についてまとめる箇所があればいいと思うのだが。

#### 服部委員

今、人間基礎教育の看板は摂津市のあちこちで目にする。人間基礎教育の啓発のように各課が協力し摂津市に愛着の持てる人をつくるキャンペーンを行えばよいのではないか。ただ、キャンペーンだけではなく具体的な取組が必要になると思うが。

#### 杉本部長

「みんなでつくる美しいまち運動」のようなものがあってもよいと思う。

#### 切東委員

施策の展開には常に担当課が一つしかない。しかし、現状として担当課が一つで終わるものはないと思う。担当課を複数書く方がよいのではないだろうか。また、複数が関るという観点から担当課を書かないというものがあってもよいのではないだろうか。視点を変えて、もっと連携できる施策については、その課の課名をもっと入れる方がよいのではないか。

#### 服部委員

市をあげて取り組むということ、市民にもアピールできるよう打ち出すことができればよい。

#### 杉本部長

いくつかの項目を、どこかにうまく統合することも含めて検討いただければと思う。

#### ■施策 ごみの減量化とリサイクルをすすめます (3-5-25)

#### 服部委員

ごみの広域化とは他市との連携ということか。何か動きがあるのか。

#### 環境業務課

摂津市のごみの焼却炉は、2炉で運転した場合、あと10年ほどしかもたないが、1炉で運転するとその倍の期間はもつ。その間に、ごみの焼却については他市に任せる方向で、資源は摂津市で収集する方向で検討していきたい。

#### 環境センター

ごみ焼却は単独市で行うと効率が悪い。また、ごみ自体が減っている。近隣市も同様である。焼却に関しては他市のごみは燃やすなという感情もあるので、広い目で見ると役割分担により、近隣市とごみの焼却、処理方法を一緒に考えていくよう働きかけている。

#### 杉本部長

北摂で検討会を始める段階までは進んでいないのか。

#### 環境業務課

そこまでは進んでいない。

#### 環境センター

大阪府が事務局になり、広域化の検討会を設置したが、実質的には動いていない。

#### 山中委員

市民の分別により家庭における手間は増えたが、ごみは減った。ただし、市民への説明が徹底されていないことや、転入してきた人への情報提供が徹底されていないなどの課題があるのではないかと。

#### 環境業務課

ごみの回収については、分別されていないものは一時回収しないが、しばらくすれば、回収に訪れている。また、後日、チラシを持って近隣に説明に行っている。

#### 山中委員

分別をしていなくても出せば回収してもらえるとこの認識が広まると困る。

#### 切東委員

摂津市民の努力もあるが、不法投棄も非常に多い。衛生環境に関してこそ、マナーが大事だと思う。そうした文言は盛り込んでいただきたい。また、ごみは非常に大きな問題である。ごみが減少している理由は人口減少によるものか景気後退によるものかは分からないが、ごみは多様化している。医療系廃棄物などが最たる例である。大阪府主導で検討会が設置されながら実際は動いていないというのは、のんきな対応である。市民が納得すれば新しい焼却施設をつくるのがいいかもしれないし、一方で、外部に委託するなど10年後のごみ問題は非常に大きな問題だと思う。

#### 環境業務課

不法投棄に関しては各施設の管理者が処理することになっているので、各担当課と協議しながら対処している。

#### 切東委員

各担当課で対処しているならば、担当課欄には詳しく記入すべきである。今後のことを真剣に考えるべきだと思う。また、広域化についてであるが、他のところも困っていると思う。分解できないようなごみが増えることも考えられる。

#### 環境センター

ごみが減り、1炉で運営できるということで、焼却炉の10年の延命が可能となった。現在は、さらに10年の延命、つまり平成40年まで延命を進めることを目指している。ごみが減っているというのは、景気の変動による影響が大きいと思われるが、10年後には次の10年についても検討を進めていかなければならないと考えている。

#### 杉本部長

現時点では、施策の展開にある「収集・処理システムの構築」までは検討されていないという理解でよいのか。

#### 環境業務課

この項目は、今後ごみを減らし、10年後どこまで減らせるか検討するということである。

#### 杉本部長

10年後、広域化が進んだ際には、どこに焼却施設をつくるかなどは検討しているのか。

#### 環境業務課

現時点では考えていない。

#### 杉本部長

広域的な処理システムを構築していくということは書けないのか。

#### 環境業務課

現時点では未定なので書けない。

#### 山中委員

もっと市民教育をしていけば、ごみはもっと減るのではないか。封筒一枚でも、処理の仕方によって、リサイクルできる量が変わる。

#### 環境センター

何箇所かのごみ収集所で監視カメラをつけたところ、不法投棄が減るなど効果が出ている。ある自治会では、自治会単位で進めている。

#### 中原委員

自治会が設置するのであれば、市が半額負担するなどの対策があればよい。

#### 山中委員

監視カメラは太陽光電池で動いているのか。

#### 環境業務課

太陽光電池で動いているが、太陽光のバッテリーが不足すると、市の方で充電を行っている。

#### 杉本部長

リサイクルは確実に行われているか。

#### 環境業務課

ペットボトルや紙資源はきれいにして出していただければ、再資源に回っている。

#### 服部委員

市民は分別を行っているが、飲食店のごみは可燃ごみ、不燃ごみが一緒に回収されていく。どうなっているのか。

## 環境センター

事業所のごみは、分けて出しても一緒に運搬しているが、ごみ収集運搬許可業者は責任を持って処理している。不燃ごみは産業廃棄物として処理される。

## 切東委員

病院は産業廃棄物の処理に莫大な費用をかけている。不正があればごみを出したところから罰則を受けることになっている。しかし、実際、不法投棄をした業者はどこも罰則を受けていない。それぐらいしてくれればよいと思うのだが。

## 環境業務課

不法投棄のごみの中に住所を特定できるものがあれば、本人に連絡を入れるようにしている。警察の生活安全課と連携を取り、対応している。

## 環境センター

月に一度、事業系ごみを開けて調べている。医療系のごみなどが出た場合は、業者からの情報により事業所を把握している。そうしたごみが出た段階で、事業所に指導を行っている。

## ■施策 うるおいのある水と緑の空間づくりをすすめます (3-6-26)

### 公園みどり課

先ほど話題にあがったが、公園と下水は担当課が分かれている。河川水路は下水道管理課の所管となるので、個々に挙げている。大正川の遊歩道は、河川公園という位置づけをして、公園みどり課で管理している。

## 山中委員

摂津市の特色や魅力のある取組として、新幹線公園の番田水路をあげているが、これは市民の目に入らない。下流に範囲を広げてはどうか。

### 公園みどり課

市域内で木を植えるとなると、道路や公園などの公共用地になり、その辺りしかなくなる。今年から大阪府の農とみどりの総合事務所が「大阪府内一千万本計画」として、木を植えていこうという取組を行っている。この組織と摂津市が協力して新幹線公園から上流域に毎年桜を植えていこうと検討している。

## 切東委員

それは、次のページの新幹線公園の整備に当たるのか。

### 公園みどり課

新幹線公園には0系新幹線を展示している。昨年、0系新幹線が廃止になったことを受け、市外からの問い合わせが1,000件を超えた。せっかくの資産なので活用しないわけにはいかないのに、老朽化対策も含めて手を加えPRできればと思う。

また、神安土地改良区の管理になるが、桜並木と水辺についても市民との協働で、清掃をするなどして、お金をかけずに取組を進め、PRしていければと考えている。

位置的に、車の駐車場などが無いので残念である。

### 山中委員

新幹線公園の入口がわからない。

### 公園みどり課

府道から直につながる道をつけるよう、府に要望を出したりしている。われわれも同じ思いで取組を進めている。

場所としては不便なところであるが、何とかして人を呼び込みたいという思いがある。

### 切東委員

淀川はどうなのか。地域資源として活用しないのか。

### 公園みどり課

淀川は国土交通省の整備計画で、淀川河川公園を整備している。淀川の自然を活かす方針で整備を進めていくという基本計画ができ上がったところである。その基本計画に対して、地域自治体に意見を求め、地域協議会で議論を始めるところである。すでに、スポーツ施設や自然公園、多目的公園があり、加えてワンドなどの水生資源も活かしながら整備をすすめていく予定である。

また、国では、歴史史跡の整備とあわせてウォーキングマップとして整備を進めるなどの取組も行われている。

安威川や大正川の遊歩道でも歩いている人が多い。お金をかけない整備として、距離表示などを検討している。

### 日野委員

摂津市でも、親の代には、蛍が飛んでいたという。水路や水道、大正川など、徹底的に環境を整備し、自然に近い環境をつくり、市民で見守るような取組を広げていければ、啓発のためにもよいのではないかと。地域の方がきれいになった川や水路を見ながら生活が送れる状態が望ましい。

水路には許可をもらわなければ、勝手に植物などを置いてはいけないのか。

#### 下水道管理課

水路に関しては摂津市、神安土地改良区、地元水利組合の許可が必要となる。しかし、水路は水害対策として浸水しないのが大事。従って、水流に支障をきたさないのであれば問題はないと思う。

#### 日野委員

田植え後や収穫後の一斉清掃で水草などを刈り取っている。きれいにはなるが、そこに生息している生物も一緒に片付けてしまうことになる。そのあたりは調整していただければうれしい。

#### 下水道管理課

神安はソフト面でかなり成果をあげている。「花いっぱい活動」も神安が主体となっている。

#### 中原委員

その水路も、朝はきれいだが、昼から夕方は水の流れが少ない。昼以降ももう少し流すことはできないだろうか。ポンプアップの費用が高くつくからできないのか。

#### 下水道管理課

今は2時間程度であるが、夏場は5時間ぐらい流している。

#### 杉本部長

水辺はうまく使えば、いろんな楽しいことができる。市民の知恵を使って、お金をかけることなく、いろんな工夫ができればよいと思う。

#### **■施策 公園・緑地の充実を図ります (3-6-27)**

#### 杉本部長

この施策名についてももう少し修正したいと思う。

#### 公園みどり課

現行の総合計画では、「公園・緑地の管理を図ります」になっていた。財政や土地制約から10年の間に、しっかりした公園を整備できるかという点と難しいので、「充実」という言葉にした。

#### 杉本部長

「多目的」や「多機能化」などの文言を盛り込めばいいのではないか。

#### 服部委員

三島公園の利用者が増えたように思う。

#### 公園みどり課

以前は木が生い茂っていたが、リフレッシュして使いやすくした。

#### 服部委員

市民会議では、子どもがボール遊びをできるところがほしいという意見が出た。

#### 公園みどり課

球技ができる広場が少ない。いろんな方が利用するところでは危険が伴うということで球技を禁止している。しかし、摂津市内で球技ができる場所があるかと言えばそうではない。非常に難しいところである。

#### 切東委員

次世代育成行動計画推進協議会で、現役の小学校の校長から、公園をつくっても子どもたちが遊べないという現状が報告された。ボール遊びは危ないなどの理由である。もっと、使い方の部分の仕組みづくりが必要であろう。アイデアの工夫を期待する。

#### 服部委員

地域の方の意見を聞き、管理まで担っていただくのはどうか。

#### 公園みどり課

公園には地域性があると思う。しかし、市内にある公園は、ほぼ同じような公園が多い。この点は見直していきたい。

#### 切東委員

逆に言えば、ゲートボールをする方には使いやすい公園になっている。中身はもちろん、使い方についても検討いただければと思う。

#### 杉本部長

公園などは、住民と行政と一緒に考えるのに最適な事例である。ワークショップなどにより、検討を進めるのがよい。

#### 公園みどり課

鳥飼にせんだん公園という公園がある。ここには滝のような水流施設がある。この壁に

絵を描いてもらい、公園を自分のものと思ってもらうのがよいかと考えている。

#### 杉本部長

大学の該当の先生にも伝えておく。正雀でも同じようなことをやりかけたが、なかなかそこまで動けなかった。

#### 公園みどり課

府営水道のところに小学生が絵を書いたのを見て、これは使えると考えた。自分たちが作ったものが残っているということで、大事に使っていただけたと思う。

#### 杉本部長

2つある小学校の跡地が公園になることはないのか。

#### 切東委員

今朝、「空き教室を保育所に」という記事を新聞で見た。

#### 杉本部長

耐震の問題もあるが、うまく使えればと思う。

#### 公園みどり課

新幹線公園整備については、私がお話した内容と全く同じである。グリーンアドバイザーによる専門的な取組についても、仕組みづくりさえできればコンクールなどを開くことは可能である。

#### 切東委員

菊コンクールなどと同時にすることも可能ではないか。

#### 環境対策課

グリーンカーテンコンテストも行っている。これはヒートアイランド対策になっている。

#### 杉本部長

屋上庭園化は増えているのか。

#### 切東委員

施設では屋上庭園を行っている。

#### 杉本部長

屋上庭園はオープンな空間にはなりにくいのか。

#### 切東委員

施設では入居者が屋上庭園を活用している。一般には活用しにくいのかもしれない。

#### 環境対策課

南千里丘では、マンションなどで屋上緑化が進められている。そこは 25%を超える緑化率である。

#### 服部委員

南千里丘で行われている公園のワークショップに参加させていただいている。長野県飯田市で中学生がりんごを育てているという話を聞いた。摂津市でも実のなる木を植えてほしいと提案したことがある。

#### 公園みどり課

公園みどり課で受けた要望の中で、実のなる木を植えてほしいという提案はいただいていた。公園みどり課で提案を受ければ採用させていただきたいと思う。

#### 切東委員

屋上庭園や特徴のある公園については、一生懸命管理をしている人や公園の姿をみんなに知らせることも大事だと思う。管理している人にとっても励みになるし、お金もかからず、市民にアピールすることもできる。

#### 服部委員

よくまち中を歩かれている方で、植物や野鳥などに詳しい方がいらっしゃる。そういう方を募集し、活動を支援する組織があればいいと思う。

#### 公園みどり課

歩いている人にアンケートを取ろうと思っている。現状としてはわれわれも草刈だけになってしまっている。大正川を歩き、茨木市に入ると、茨木市の境界はスカッとしている。これは、アドプトリバーに登録しているからである。それだけでも全く違う。どこから始めればいいのかわからないので、歩いている人に聞いてみようと思っている。

#### 杉本部長

今回はこれまで3回分をまとめて議論する。

## 2. その他

### 事務局

第7回は3月12日（金）に、この場所で行う。今までの話を総括し、部会のまとめとさせていただく。

また、4月16日（金）に全体会議を行う。続いて5月にもう一度全体会議を行う予定である。5月についてはまだ日程調整を行っていない。

### 杉本部部长

第7回の前に、私たちの議論により基本計画（案）がどのように変わったかが、わかる資料を送っていただけるか。

### 事務局

第3部会の第6回審議会の日程が遅れている。この部会が終わり次第、すべての部会の意見を合わせてできるだけ早い時期にお送りしたいと思っている。

### 杉本部部长

基本計画（案）の修正版は、1週間前には送っていただきたい。次回3月12日（金）もよろしく願います。

以上